



府中の森芸術劇場リニューアルオープン記念
府中の森クラシックコレクション

Starring

ソロ・ヴァイオリン: 石田泰尚

ヴァイオリン: 塩田 脩 / 山岸 努 / 丹羽洋輔

ヴィオラ: 中村洋乃理 / 萩谷金太郎

チェロ: 辻本 玲 / 門脇大樹

石田組
コンサートツアー
2025

石田組

チャイコフスキー: 弦楽六重奏曲「フィレンツェの思い出」op.70

チャップリン(松岡あさひ編曲): スマイル

久石譲(松岡あさひ編曲): 人生のメリーゴーランド

マイケル・ジャクソン(松岡あさひ編曲): ビート・イット

クイーン(松岡あさひ編曲): ボヘミアン・ラブソディー

キング・クリムゾン(近藤和明編曲): 21世紀のスキッツォイド・マン ほか

※都合により曲目が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

9.7 2025
[日]

14:00 開演

13:30 開場

府中の森芸術劇場 ウィーンホール

Fivo Plus会員割引対象公演 全席指定 ¥5,000 ※小学校入学前のお子様の入場はご遠慮ください。

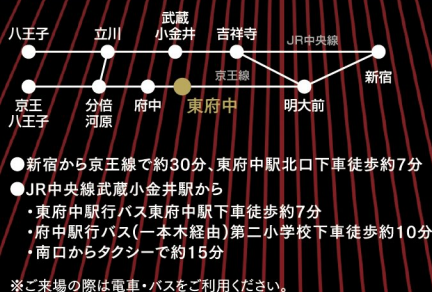
Fivo Plus会員 6月7日[土]10時～ Web・電話予約開始 Fivo Free会員 6月13日[金]10時～ Web予約開始 一般 6月15日[日]10時～ 予約開始
チケットお申込み ※予約開始日は店頭での販売はありません。

■ Fivo (パソコン・スマホ) Fivo 検索
[24時間受付 ※予約開始日は10:00～]
※ご利用には会員登録が必要です。
※チケット料金のほかに手数料がかかります。



■ チケットふちゅう 042-333-9999
[10:00～17:00 ※劇場休館日は休業]
※Free会員は一般予約開始日よりご利用いただけます。

■ チケットぴあ
<https://t.pia.jp>



[主催]

公益財団法人府中文化振興財団
府中の森芸術劇場
<https://www.fuchu-cpf.or.jp/theater/>



@fuchu_theater

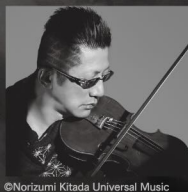
@FuchuTheater

ホームページ



ヴァイオリニスト石田泰尚の呼びかけにより2014年に結成された弦楽合奏団。プログラムによって様々な編成で演奏をするスタイルを取っており、メンバーは“石田組長”が信頼を置いている首都圏の第一線で活躍するオーケストラメンバーを中心に公演ごとに“組員”が召集される。レパートリーはバロック音楽から映画音楽、プログレッシブ・ロックまで幅広く、各々のスタイルをぶつけ合いながら織り成す演奏スタイルは弦楽アンサンブルの新しい世界を切り拓く存在として各方面から注目されている。単独公演のみならずSUGIZO、鈴木愛理らとのジャンルを越えたコラボレーションや組員自ら指導に当たる教育プログラムの実施など活動は多岐にわたる。2018年にNHK-FM「ベストオブクラシック」及びNHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」で紹介され、その熱いステージの模様が大きな反響を呼び、2019年にEテレ「ららら♪クラシック」で特集が組まれた。2022年より毎年30公演以上の全国ツアーを行い、結成10周年を迎えた2024年にはNHK「あさイチ」に出演、弦楽アンサンブルでは異例となる日本武道館公演を行い8,000人以上を動員し大きな話題となった。同年リリースされた『石田組 結成10周年記念 2024・春』が第39回日本ゴールドディスク大賞インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞した。

石田 泰尚 YASUNAO ISHIDA ソロ・ヴァイオリン



©Norizumi Kitada Universal Music

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来“神奈川フィルの顔”となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル“石田組”など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスター(2025年4月よりソロ・コンサートマスター)を兼任。2022年に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。2025年4月より横浜みなとみらいホール「プロデューサー in レジデンス」第3代プロデューサーに就任。使用楽器は1690年製 G.Tononi、1726年製 M.Goffriller。

塩田 脩 SHU SHIODA ヴァイオリン



アメリカ合衆国ボストン生まれ。ジュリアード音楽院プレカレッジを経てニューイングランド音楽院卒業。2010年来日し、京都市交響楽団ゲスト首席、兵庫県芸術文化センター管弦楽団ゲストコンサートマスター、小澤征爾音楽塾コンサートマスター、水戸室内管弦楽団などを経て2014年東京都交響楽団に入団。第1ヴァイオリン奏者をつとめる。石田組、トリトン晴れた海のオーケストラ、サイトウキネン・オーケストラメンバー、玉川大学非常勤講師。これまでに潮田益子、田中直子、シャリー・ギブンスの各氏に師事。

山岸 努 TSUTOMU YAMAGISHI ヴァイオリン



桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て、2008年同大学を卒業、NHK交響楽団入団。第51回・第54回全日本音楽コンクール入賞。第12回日本モーツァルト音楽コンクール第1位。国内主要音楽祭にて音楽賞受賞。第9回千葉市芸術文化新人賞を受賞。現在NHK交響楽団第1ヴァイオリン次席奏者。室内楽や、ソロコンサートでも活躍中。

丹羽 洋輔 YOSUKE NIWA ヴァイオリン



東京生まれ。7歳よりヴァイオリンを始める。都立芸術高校を経て東京藝術大学にて学ぶ。在学中ウィーンへ留学。ディビラーコンクールにて入賞。2007年NHK交響楽団に入団。これまでにヴァイオリンを佐藤素子、保井領子、岡山 潔、篠崎史紀、エドワード・ツェンコフスキーの各氏に師事。室内合奏団アルクスや弦楽四重奏団大人倶楽部、ピアノトリオ浪漫メンバーとしてオーケストラの傍ら精力的に活動している。

中村 洋乃理 HIRONORI NAKAMURA ヴィオラ



岡山県岡山市生まれ。愛知県立芸術大学を経て、東京藝術大学大学院研究科修士課程修了。第8回日本演奏家コンクール最高位受賞。2011年国際音楽祭「ヤング・ブラハ」に招かれ、ヤング・ブラハ・フェスティバル・カルテットとしてチェコ各地にて演奏。2007年から2014年まで東京フィルハーモニー交響楽団フォアシュペラーを務めた。2015年NHK交響楽団入団、現在次席奏者。ナガノチェンバーオーケストラメンバー、横浜シンフォニエッタシーズンメンバー。2019年よりBSテレビ東京「エンター・ザ・ミュージック」の室内楽コーナーにおいて「The 4 Players Tokyo」のメンバーとして定期的に出演している。これまでにヴィオラを江島幹雄、百武由紀、川崎和憲の各氏に師事。

萩谷 金太郎 KINTARO HAGIYA ヴィオラ



東京都出身。東京音楽大学卒業。桐朋学園大学院大学を修了。ヴァイオリンを藤原浜雄に、ヴィオラを百武由紀に、室内楽を上田晴子、岩崎 洸の各氏に師事。PMF2011、カザルス国際音楽祭、アフィニス夏の音楽祭などに参加。京都市交響楽団契約楽員、NHK交響楽団アカデミーを経て、2017年より東京都交響楽団に所属。オーケストラの他、スタジオレコーディングやライブサポート、作編曲など、多岐にわたって活動。

辻本 玲 REI TSUJIMOTO チェロ



東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業。その後シベリウス・アカデミー、ベルン芸術大学に留学。第72回日本音楽コンクール第2位(「聴衆賞」受賞)。2009年ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞(日本人最高位)。2011年に東京サントリーホール他5大都市でデビュー・リサイタルを開催。2013年齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2019年CD「オブリヴィオン」をリリース(「レコード芸術」誌特選盤)。サイトウ・キネン・オーケストラ、東京・春・音楽祭に参加するほか、チェロ四重奏団「カルテット・エクスプローチェ」など室内楽でも活動。使用楽器は宗次コレクションより1730年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを、弓は住野泰士コレクションよりTourteを特別に貸与されている。現在、NHK交響楽団首席チェロ奏者を務める。

門脇 大樹 HIROKI KADOWAKI チェロ



東京藝術大学卒業。第74回日本音楽コンクール第3位、ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール第1位など、受賞多数。イタリアへ留学。フィルハーモニー・イタリアーナのオペラフェスティバルでは、首席を務める。チェロをフランチェスコ・フェラリーニに、室内楽をロレンツァ・ボッラーニに師事。その後オランダへ渡り、アムステルダム国立音楽院にて研鑽を積む。アンナー・ビルスマのマスタークラスを受講。これまでに柳田耕治、雨田一孝、河野文昭、山崎伸子の各氏に、室内楽をゴールドベルク山根美代子、岡山 潔の各氏に師事。神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者を経て2023年9月より日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・チェロ奏者。東京音楽大学、東京藝術大学非常勤講師。